台風・長雨で水田が冠水・倒伏が発生した生産者の方々へ

～稲わらや未収獲稲株のすき込み時の注意点・年内編～

令和８年 10 月
いすみ農業協同組合
夷 隅 農 業 事 務 所

令和８年千葉豪雨及びその後の台風で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

本年は長雨・豪雨の影響により収穫期前後に多くの水田で冠水・倒伏が発生しました。水田が十分に乾いたら、次作に向けた準備として、以下の点に注意して対策を講じてください。



稲わらが堆積した水田

１　秋耕（すき込み）は早めに

気温が高い秋の時期（遅くても 11 月頃まで）に行うほど、稲わらの分解（腐熟）は早く進みます。耕うん深度は５～10 ㎝の浅めにし、複数回行います。耕うん前に腐熟促進資材を施用すると、さらに効果的です（表）。

２　堆積した稲わらについて

稲わらが局所的に大量に堆積した箇所では、次年度に有害なガス（硫化水素等）が発生し、活着不良、葉の黄化、分げつの抑制等の生理障害を引き起こします。

そのため、堆積した稲わらを、可能な限りほ場全体に均一に散らすか、ほ場外に持ち出します。その後の耕うん方法は、上記１と同じです。

３　収穫を断念したほ場について

倒伏・冠水で収穫を断念したほ場をそのままロータリーですき込もうとすると、稲株が絡まって機械の故障原因にもなります。また、大量の籾（もみ）が残り、次作で漏生イネが多発するリスクがあります。

そのため、販売が難しい状態であっても、可能な限りコンバインで収穫作業を行い、「籾の回収」と「稲わらの細断」を行ってください。もし、コンバインでの収穫作業が困難な場合は、フレールモア等で稲株を粉砕してから、上記１の耕うん方法をとってください。なお、籾が多量にほ場に残ってしまうので、次年度は異品種の混入を防ぐため、前作と同一品種を栽培する等の対策が必要になります。

（裏面に続く）

表　稲わらの腐熟促進資材

資材名	10a 当たり施用量	特徴
農力アップ	３袋（60 kg）	微量要素を含有した粒状の資材。稲わらの腐熟促進の他、鉄・マンガンの効果によりガス害の軽減効果がある。
酵素でくさ～る	３～４袋 （45～60 kg）	有機物分解酵素を分泌する枯草菌が生きたまま含まれている資材。
アグリ革命	１袋（２kg）	酵素資材で散布してから短時間で効果を発揮する。但し、降雨後など水分があるときに散布する。特別栽培にも使用可能。
わらゴールド	２袋（30 kg）	有用微生物を添加した資材で、稲わらの腐熟と分解を促進する。均一に散布し、表土にわらを浅めにすき込むことで、分解効率が向上する。

●水稲の栽培管理に関する問い合わせ先

機関名	電話番号
夷隅農業事務所　　改良普及課	０４７０－８２－２２１３
いすみ農業協同組合　営農指導販売課	０４７０－８６－３７１５
〃　　勝浦地区購買店舗	０４７０―７６―０８３１
〃　　大多喜地区購買店舗	０４７０－８４－０６４８
〃　　夷隅地区購買店舗	０４７０－８６－２１２２
〃　　岬地区購買店舗	０４７０－８７－６０６４
〃　　大原御宿地区購買店舗	０４７０－６６－１７１２

千葉県LINE公式アカウントで、県政情報をもっと身近に



居住地以外の情報も受信できます

千葉県LINE公式アカウントがリニューアルし、受け取りたい情報を自分で選べるようになりました。県内各地の観光やイベント、お役立ちセミナー情報など、**関心のある分野の情報を必要なものだけ受信**できます。

また、防災情報の受信設定では、**県内の複数の自治体の災害情報を登録**すると、お住まいの市町村だけでなく、通勤・通学先など、選んだ地域の警報や避難情報、大雨や地震などの情報が届くため、外出先でも状況を把握しやすくなっています。

子育て世帯がお買い物などで特典をもらえる「**電子版チーパス**」も表示できます。ぜひ友だち登録・受信設定してご利用ください。



LINE

友だち登録はこちら

問　千葉県総合企画部報道広報課　☎043(223)2241

★登録時の県政情報から「農林水産業生産者向け」にチェックを入れると、「営農情報」、「災害情報」等の情報が配信されます！